

「戻す作業」の負担を減らせば

メンド臭さゼロ



ペンチやニッパー・
レンチ類の
「戻しやすい」に注目！

事例：備前化成株式会社

収納場所が作業場から遠い場合には、返却が面倒になって、モノをその辺に置いたままにしてしまうことがある。

そこで、作業場の一角に「要返却」を専用置く「仮置き台」を設置する。作業中に戻しに行きづらい時は、とりあえず「仮置き台」に仮置きしておく、後ほど元の場所に返却する。

◇

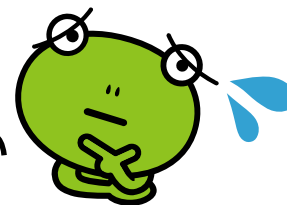
仮置き台ほど大きな仕掛けでなくてもよい。

たとえば――

ペンチの「定位置」はもともと、「作業台引き出し2段目」であった。

ところが、いちいち引き出しを開けて定位置に戻すのが面倒なのか、ごくたまに帰らないことも。そこで作業台近くの壁にパンチングメタルで写真のような「工具掛け場」を作った。

なぜ
戻されないか



戻す場所を間違える
分からなくなる

戻すのに
手間ヒマがかかる

整頓を継続する

戻しやすい化

「分かる」と「戻せる」

「モノが元の場所に戻されない」
これは「整理整頓」だけでなく5S
全体に関わる大きな課題だ。

「所番地どりの場所に行けば、探しているモノは必ずある」

との約束が厳守されてこそ、「5S」
の真価が腑に落ちるというものだ。

もし、そこになかったら3定管理も
絵に描いた餅にすぎない。

◇

では、なぜ戻されないのか。

「元々あった場所がはつきり分から
なくなったのでテキトリーな場所に戻
した」

「分かってはいるが、戻す場所が遠いの
で、作業中に行けず、つい放置する」

「戻す場所を間違える」

「戻し作業の面倒さ」

この二大課題をなんとかすれば改善
できそうだ。